

備前市事務事業評価表

事務事業名	会議録作成運用事業		コード	06-01-09-02
			担当課・係	議事事務局・議事係
			担当者	山本光男
			電話	0869-64-1803
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	その他の事務管理		

事業について	
目的 (何のために)	正確性を確保しながら、できる限り迅速に会議録を作成し、関係者に配布するとともに、市民への公開を行うことを目的とする
対象 (誰・何を対象に)	市議会議員・市職員・市民
内容	定例会、臨時会及び各常任委員会、特別委員会等の会議録を作成し、関係者に配布するとともに、インターネットにより市民などが手軽に閲覧できるようにする（配付及び閲覧は本会議の会議録のみ）

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
会議録ページ数	1,214 頁	830 頁	
委員会録ページ数	1,128 頁	1,592 頁	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 6,272 人件費 9,705 合計 15,977	直接補助金等 委託費負担 市債 一般財源等	直接事業費 5,477 人件費 8,889 合計 14,366

必要人員	120 人	110 人	
結果指標	結果指標名	会議録ページ数	会議録ページ数
	結果指標量	1,214 頁	830 頁
	対前年比	68.37%	0.00%
	活動にかかるコスト	9,895,000 円	8,214,000 円
	単位当たりコスト	8,151 円	9,896 円
結果指標	結果指標名	委員会録ページ数	委員会録ページ数
	結果指標量	1,128 頁	1,592 頁
	対前年比	141.13%	0.00%
	活動にかかるコスト	5,302,000 円	5,376,000 円
	単位当たりコスト	4,700 円	3,377 円

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか	議会の公式記録である会議録をホームページ等で少しでも早く情報提供し、活用してもらいたい。	
成果指標名	会議録検索システムアクセス数	
	式又は説明	
	会議録の活用と議会への関心度を測るものです	
成果指標量	17年度 3,317	18年度 3,379
対前年比	101.87%	0.00%
到達目標値	5,000	到達目標年度 20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 対象の妥当性 <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である 市民ニーズの妥当性 <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である 市の関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	妥当性評価<A~E> B 課題認識
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている 職場の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	効率性評価<A~E> C 課題認識 反訳作業の業者委託により、コスト削減を図っている。今後は、職員の作業効率の向上を検討していく必要がある。
有効性の評価	目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある 市民参画度 <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 課題認識 会議録の作成に当たっては正確性を第一に考え、できる限り迅速な情報提供ができるよう努力する必要がある。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	職員作業効率をアップさせるとともに反訳業者に対して納期短縮をお願いし、昨年度よりも1週間程度短縮した作業工程表の作成を行い、会議録の早期情報提供に努めている。
目標値	結果指標量 850	結果指標量 1,600	
	結果指標量 4,000		

総合評価	会議録は、議員や市民等への情報提供の手段として活用されている重要なものである。今後は、正確性を確保しながら作業効率のさらなる向上に努めていかなければならない。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果